

6月14日(日)開催の

「第4回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演」

の概要が決定しました。あわせて、参加のお申し込みも受付開始しました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、3月22日(日)に開催した

第18回自然科学研究機構シンポジウム「生き物たちの驚きの能力に迫る」
にお越し頂いた皆様、ありがとうございました。

当日頂いた質問に対する講演者からの回答は、

近日中に Web サイトに掲載する予定です。もうしばらくお待ちください。

INDEX

-
1. 「第4回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演」参加申し込み受付開始
 2. 高校生記者による第18回シンポジウム(3月22日開催)取材記事
 3. 各研究機関のイベント情報
 4. 最新の研究成果・ニュース
 5. 編集後記

-
1. 「第4回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演」参加申し込み受付開始
-

新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み、成果をあげた優秀な
若手研究者を表彰する「自然科学研究機構若手研究者賞」の受賞者による

「第4回 自然科学研究機構 若手研究者賞記念講演」

の参加申し込みの受付を開始しました。

本記念講演では、最先端の学術研究に触れ、科学に対する興味を

より一層持っていただくことを期待し、高校生にも分かりやすく

講演を行います。ぜひ、学生から一般の方まで、奮ってご参加ください。

<開催概要>

◆タイトル:

「宇宙、生命、脳、物質、エネルギー」若手研究者による Rising Sun 4
—自然科学研究機構若手研究者賞記念講演—

◆日時

平成27年6月14日(日) 13:00~18:00 (開場 12:30)

◆場所

日本科学未来館 7階 未来館ホール

東京都江東区青海 2-3-6

◆申込み方法

【氏名】【性別】【一般、学生のどちらか※】を必ずご記入の上、
下記 e-mail アドレス宛に申し込みメールをお送りください。

※お申し込みは定員になり次第、締め切らせていただきます。
※学生は、高校生、大学生、大学院生、及び予備校生を含みます。
(学校名を明記してください)

会場までの交通費のサポートをご希望の高校生の方は、
自然科学研究機構 Web サイト『第 4 回若手研究者賞記念講演』ページ
http://www.nins.jp/public_information/04risingsun.php
に記載の注意事項をご確認頂き、
ダウンロードした申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

【申し込み用 e-mail アドレス】

sympo@nins.jp (←参加申し込みはこちらから)

sympo-hs@nins.jp (←交通費のサポートをご希望の高校生はこちらから)

◆プログラム :

13:00~

授賞式

13:10~13:50

宇宙の初代星~多様な物質世界の始まり/青木 和光 (国立天文台 准教授)

13:55~14:35

地上の太陽-核融合-何に入れる?/長坂 琢也 (核融合科学研究所 准教授)

14:35~14:45

休憩

14:45~15:25

多量の精子をうみ出す幹細胞の正体に迫る/原 健士朗 (基礎生物学研究所 (現 東北大学大学院農学研究科 准教授))

15:30~16:10

環境によりしなやかに変化するヒトの脳神経活動/岡本 秀彦 (生理学研究所 准教授)

16:15~16:55

環境に優しい未来型遷移金属触媒反応を目指して/大迫 隆男 (分子科学研究所 助教)

16:55~

閉式

17:10~18:00

ミート・ザ・レクチャーズ - 講演者と直接語ろう -

2. 高校生記者による第 18 回シンポジウム (3月 22 日開催) 取材記事

第 18 回自然科学研究機構シンポジウム

「生き物たちの驚きの能力に迫る」

(2015 年 3 月 22 日開催)

にて、事前に応募のあった 4 名の高校生が記者として講演者に取材をし、
記事を執筆しました。

「蒼海の一粟が物語る動物門の危機」(明星学園高等学校 前田 黎 さん)

「生き物たちと研究」(大阪市立桜宮高等学校 大門 一輝 さん)

「(タイトルなし)」(東洋高等学校 川辺 悠士朗 さん)

「褐虫藻の共生」(桜蔭高等学校 村上 侑里夏 さん)

記事本文は Web サイト特設ページからご覧頂けます。
個性豊かな力作をお楽しみください！

◆「高校生記者」による記事本文はこちら↓

http://www.nins.jp/public_information/hsreport/sympo18.php

3. 各研究機関のイベント情報

◆5月14日：市民公開講座 第105回分子科学フォーラム@愛知県岡崎市
「野菜がおいしくビタミンも増加 — LEDが拓く近未来の植物工場」

https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2015/03/05_3113.html

4. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

◆アルマ望遠鏡が描き出した大質量星団の複雑な誕生現場

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150331-alma.html>

◆アルマ望遠鏡、遠方銀河と小惑星を超高解像度で撮影

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150407-alma.html>

◆スーパーコンピュータによる、宇宙初期から現在にいたる世界最大規模のダークマターシミュレーション

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150501-aterui.html>

◆r過程元素の起源解明に大きく前進

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150512-kajino.html>

【核融合科学研究所】

◆プラズマ中の衝撃波による粒子加速メカニズムを解明

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_252.html

◆リチウム含有冷却材を使ってプラズマから熱を取り出す

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_253.html

◆「水の窓」領域の発光スペクトルを観測する

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_254.html

【基礎生物学研究所】

◆食虫植物サラセニアの小動物を食べる葉ができる仕組みの発見 ～細胞の変化が著しい形の変化を引き起こす～

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/03/16.html>

◆生体内レーザー技術で明らかになった光依存的なペルオキシソームと葉緑体の物理的相互作用

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/03/31.html>

◆日長時間に応じてメスとオスの出現をコントロールできるミジンコの誘導系の確立と、環境依存型性決定を制御する幼若ホルモンの生合成因子の発見

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/03/31-2.html>

◆精子幹細胞が尽きることなく精子を作り続けるメカニズム ～分化する細胞としない細胞はどのようにして決まるのか？～

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/04/28.html>

【生理学研究所】

- ◆カプサイシンが引き起こす痛みの増強メカニズム -TRPV1 活性化はアノクタミン1の活性化を引き起こす-
http://www.nips.ac.jp/release/2015/04/_trpv1.html
- ◆学童期における「顔認知」の発達過程を詳細に解明
http://www.nips.ac.jp/release/2015/05/post_293.html
- ◆パーキンソン病の治療薬であるゾニサミドが、ドーパミン神経細胞を保護することを発見～パーキンソン病の新しい治療薬にも～
http://www.nips.ac.jp/release/2015/05/post_294.html

【分子科学研究所】

- ◆カロテンの優れた金属捕捉機能を発見 -β-カロテン分子が多数の金属原子を挟み込む-
https://www.ims.ac.jp/news/2015/04/14_3126.html

5. 編集後記

3月22日(日)の第18回シンポジウムでは、280名近くの方にご参加いただき、各研究機関を紹介したパネル展示会場も賑わいを見せました。参加者の皆様からは、アンケートへの回答や講演者への質問を多数頂き、大変嬉しく思います。ご質問に対する講演者からの回答については、近日中にWebサイトに掲載する予定です。

また、来月6月14日(日)には、「第4回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演」を東京お台場の日本科学未来館にて開催します。若手研究者たちが研究内容はもちろん、何をきっかけに研究者の道に進み、何を目標としているのかを熱く語ります。講演終了後には、研究者と直接対話できるミート・ザ・レクチャラーズも行います。たくさんのご参加をお待ちしております。(特に研究者を目指す高校生の皆様、必見です!)

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jpまでお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、自然科学研究機構(NINS)やNINSの各研究機関(※)が開催するイベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。(※NINSは、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所の5つの研究所から成り立ち、自然科学研究の広い分野をカバーしています。<http://www.nins.jp/>)

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>
発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>
バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：
<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright(C)2015 NINS All rights reserved.
